



有限会社大崎農園が加工場新設！立地協定を締結



▲事業の発展に期待

4月13日（木）、有限会社大崎農園（代表取締役・山下義仁さん）が町内に加工場を新設するにあたり、町と立地協定を締結しました。

新設加工場では、自社生産する大根を切り干し大根に加工するほか、野菜の集出荷も行います。

7月に工事着工、来年2月の操業開始を予定しており、5名の新規雇用を見込んでいます。

山下さんは「大根加工という新たな取り組みに挑戦したい。そして、これまでと同様に地元で認知され愛されるよう頑張りたい。」と意気込みを話しました。

防犯タオルを寄贈 役立ててください

4月19日（水）、志布志地区金融機関防犯協議会（会長・内野朋昭さん）が町教育委員会を訪れ、町内全小学校の新入学児童114名分の防犯標語入りのタオルを藤井教育長へ寄贈しました。

これは、地域の安全意識を高めるために毎年行われているもので、タオルには『知らないひとにはついていかない しっているひとにもついていきません！

ひとりのときはきをつけよう！』と書かれており、内野会長は「怖い目に遭わないためのお約束として役立ててください。」と話しました。



▲全小学校へ届けられました

1年間よろしくお願いたします！



▲東町長より行政報告などが行われました

4月24日（月）、町中央公民館において、『平成29年度大崎町自治公民館長研修会』が開催されました。

東町長は、人口減少を食い止めるための住宅政策や健康増進事業、集落未加入者問題、10年連続日本一を達成したリサイクルの取り組みなどについて話し、継続的な理解と協力を求めました。

その後、公民館長事務についての説明や関係各課からの連絡事項の伝達が行われました。